

3. 流域治水について 流域治水



流域治水とは、気候変動の影響による水災害のリスクの増大に備え、流域全体のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。
その対策は、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進めるものです。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 [集水域]
[国・市・企業・住民]
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留 [河川区域]
[国・県・市・利水者]
治水ダム建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上 [河川区域]
[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす [河川区域]
[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導 / 住まい方の工夫 [氾濫域]
[国・市・企業・住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす [氾濫域]
[国・県・市]
二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 [氾濫域]
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する [河川区域]
[国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化 [企業・住民]
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫 [企業・住民]
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実 [国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する [河川区域]
[国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体

3. 流域治水について

流域治水の取組

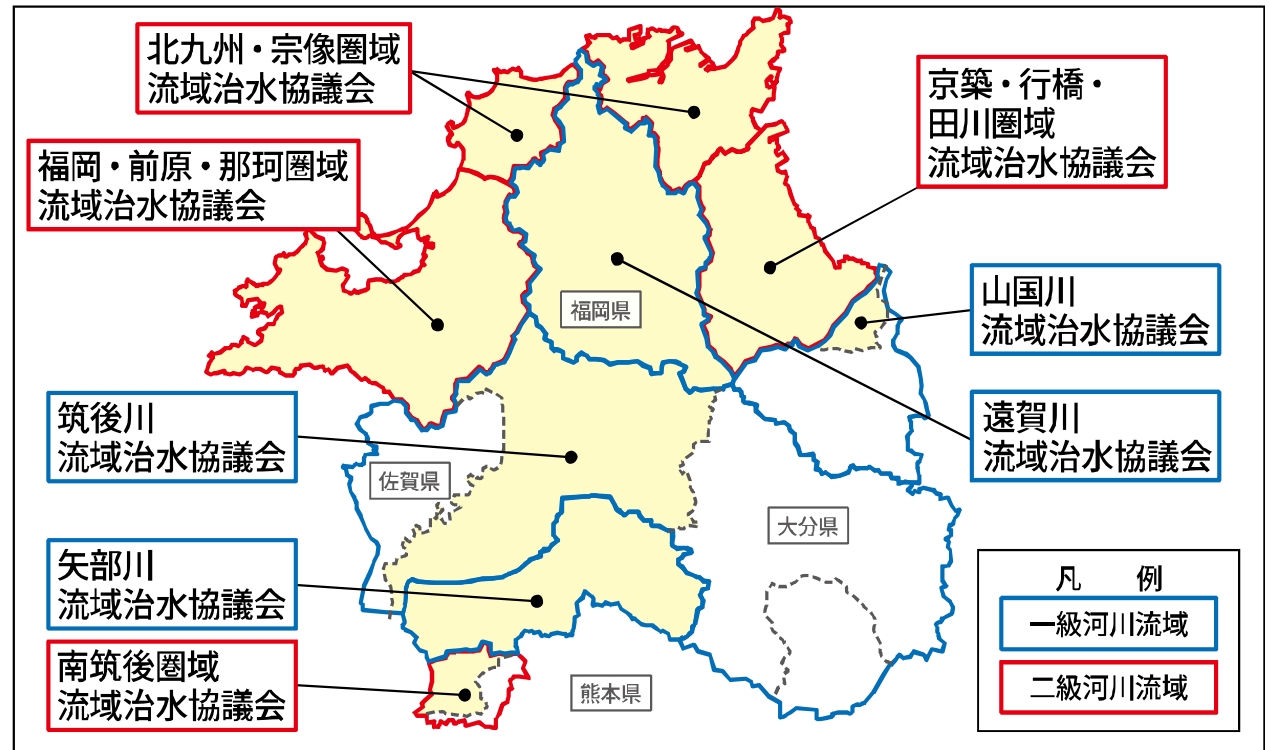
○流域治水協議会

あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有等を行う。

【二級水系流域治水協議会開催状況】



【県内の流域治水協議会】



「流域治水プロジェクト」は、河川整備等の治水対策に加え、流域内のあらゆる関係者が一体となって流域治水対策の全体像をとりまとめたもの。

「流域治水プロジェクト」イメージ

「位置図」

・様々な対策と、その実施主体を明記

「ロードマップ」

・段階的な目標と対策の実施時期を明記

「取り組みの紹介」

・対策の目的や詳細な内容を説明

